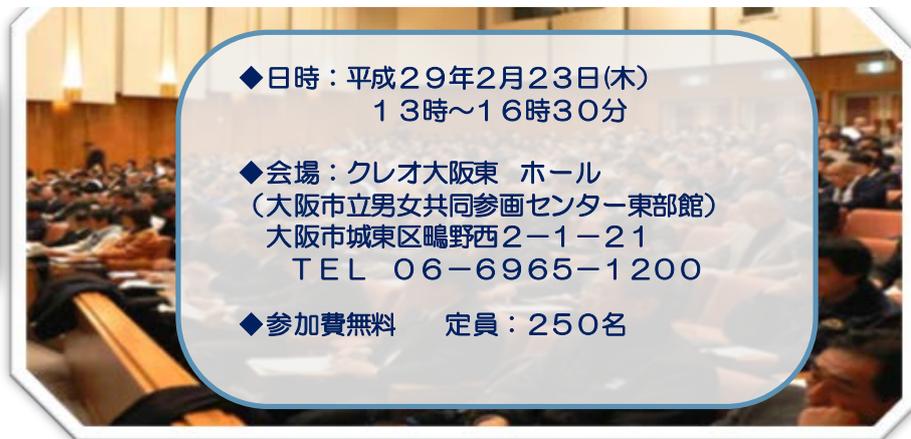


シンポジウム 2017

安マネ制度の導入から10年 取組みの現状と課題

～安全文化の醸成へ積極的アプローチ～

運輸安全マネジメント制度は、導入から10年の節目を迎えています。安全の確保は運輸事業の一番の基本であり最も大切なことです。そのためには、経営トップが「安全最優先」の意識を基にした社内体制作りから安全に対する意識向上が求められています。今回のシンポジウムは、運輸事業の根幹であります「安全・安心」の更なる向上に向けて、より一層の安全文化醸成へ守るべきルールを守り、行うべき事項を考えてみたいと思います。



◆日時：平成29年2月23日(木)
13時～16時30分

◆会場：クレオ大阪東 ホール
(大阪市立男女共同参画センター東部館)
大阪市城東区鳴野西2-1-21
TEL 06-6965-1200

◆参加費無料 定員：250名

プログラム第1部

■ 基調報告「運輸安全マネジメント制度に係る取組の現状及び貸切バスの規制について」

柳井達雄氏 近畿運輸局 自動車監査指導部 次長

■ 基調講演「安全文化、安全風土の醸成：現状と課題」（仮題）

尾入正哲氏 中京大学 心理学部 応用心理学領域 教授

《休憩》

プログラム第2部

■ パネルディスカッション

★ テーマ 「運輸安全マネジメントの取組効果と課題について」

★ パネリスト

西山彰氏 岸和田観光バス株式会社 運行管理部長

中山空悟氏 株式会社さやま交通 代表取締役

谷口守弘氏 明星観光バス株式会社 代表取締役社長

★アドバイザー 水谷邦宏氏 近畿運輸局 自動車監査指導部 首席自動車監査官

★コーディネーター 尾入正哲氏 中京大学 心理学部 教授

■ 共 催： 国土交通省近畿運輸局
公益財団法人関西交通経済研究センター TSD 運輸安全マネジメント支援センター

■ 後 援： 近畿バス団体協議会 / 一般財団法人近畿陸運協会

